

令和2年8月（2020年）No. 656

## コロナ時代の「映像発表会」

### 運営方法が様変わりに・・・

今春の「日本を縦断する映像発表会」はコロナ禍により、全国的に中止となり残念でしたが、今秋予定されている大阪アマチュア映像祭は大阪市立中央図書館との共催事業であり、今のところ開催の方向で準備を進めています。ところが、コロナ禍が続いていますので色々と制約や条件が厳しく付けられています。

- 入場者数の制限；300人定員の会場ですが、これを90人に減らす事。このため、入場者を予め確定する必要があると確実に来場する人を90名に抑えるための方策を講じる事。従来はプログラム550名程に送って凡そ200名位来場していたのですが、会場の定員にゆとりがある為これでよかったです。今回は予め入場者を90名と制限されます。依って申込制による抽選制とし。当選者に招待ハガキを、落選者にはその通知をする等の手間と経費がかかりそうです。最も入場希望者が減ることも考えられますが。
- 当日の対応；入場者の招待ハガキの確認、体温測定（図書館側対応）連絡先（万一感染者が出た場合の追跡調査の為）記入、マスク着用の確認、手指消毒液の設置（図書館側で準備するとのこと）。
- プログラム作成の注意；プログラムの裏面に「コロナ対策の為に入場制限の止む無き事情や事前申し込み制の説明等加えた上で、別紙に「後払い郵便ハガキ」を印刷した3密対策説明書の用紙を添付する等、従来にない準備が要求される映像祭になりそうです。

### 8月例会のお知らせ

- 8月例会は第4土曜日22日18時より 難波市民学習センターにて

OMC フェス上映作品候補は8月例会で締切りです。

コロナ時代における

## 会員同士の新しい対話方式

### 「ZOOM ミーティング」始めました

副会長 岡本至弘

今年になって、新型コロナウイルスの上陸により、感染拡大が懸念されはじめ、イベントや集会等自粛するようとの要請が出ました。それにともない、我がOMCも3月より5月まで毎月の例会や第2例会休会を余儀なくされました。5月初旬に外出自粛要請が解かれたため、6月例会より、感染拡大防止をした上で再開しましたが終息どころか感染拡大が増加する傾向を呈してきました。大阪では、一日の感染者が200人を超えました。依然として3密を避けソーシャルディスタンスを守る新生活様式が求められるようになりました。7月例会も開催はしたものの出席者は11名でした。出席するための交通手段や人と人の接触をさけて欠席や自粛をされた方がおられました。また遠方からの出席も危険な状態です。

このようなコロナ禍の環境にともない、リモート会議のソフトウェア「zoom」等の機器ができました。そこで、4月例会に代えての会長への提出作品から実施している、会員限定の月例作品 Youtube アップ・公開と並行して、OMCの進藤会員が積極的に推奨されて「OMCオンライン zoom ミーティング会議」を立ち上げられました。また、中村会員が関東との zoom 会議に参加されました。これでは関西も負けてはならずと思いを新たにしたところです。そこでこの会議を「OMCオンラインミーティングシステム」(略称・OOMS) オームスの会と名付けました。

第1回目は7月4日(土)、第2回目は7月18日(土)、第3回目は8月1日(土)に開催して順調にスタートしました。

現在の参加者は、江村、岡本、上総、河口、進藤、高瀬、坪井、中川、中村、宮崎、山本の11氏です。更なる参加者をお待ちしています。

当面のテーマは、ビデオに関わらず、あらゆることを聞いたり教えたり、各自が持っている、ビデオ関連などのトピックス、zoomの使い方等です。また、例会では上映が終われば解散になりますので例会で聞けなかったことやご自分の近況報告でもOKです。作品の作り方や構成の仕方でも結構です。また、zoomを通して自作品を紹介することも可能です。我がクラブの今後の運営等についてもお聞かせください。肩をはらず、楽しく、愉快的な会にしたいと思っています。毎月の例会に出席が困難な遠隔地の会員さんも有効に使っていただけたらと思います。

会議は約1時間程度です。参加は時間の許す範囲で自由参加です。開催日は毎月第1、第3土曜日午前10時開始です。次回は9月5日(土)です。(毎回事前にメールでお知らせします)

### 課題コン「実」に10作品

最優秀賞に紙本氏の「実り」

今回の課題コンテストは宮中の歌会始の来年の御題に合わせ「実」で、取り付きにくい題だと懸念していましたが、結果は10作品の応募があり、内容もよい作品がそろいました。コロナ禍のこの時代に、会員諸氏のご努力ご協力に感謝します。結果は次の通りです。

●最優秀賞 紙本勝さん 6分33秒

「実り」

●優秀賞 合原一夫さん 8分25秒

「私のまちで実際起こった事」

●秀作賞 高瀬辰雄さん 7分45秒

「実りの秋」

●努力賞 堀 皓二さん 11分50秒

(以下順不同)「華も実もあった」

●努力賞 江村一郎さん 6分43秒

「大原 実光院」

●努力賞 関 剛さん 5分59秒

「虚実皮膚の間」

●努力賞 進藤信男さん 7分20秒

「不老長寿の果実を求めて」

●努力賞 中川良三さん 11分51秒

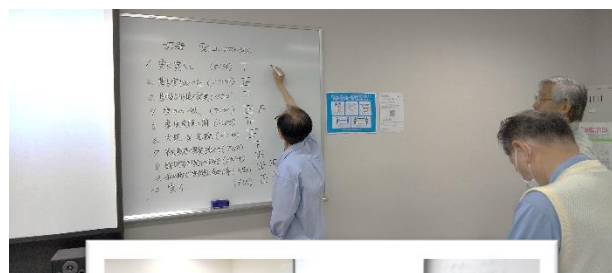
「烏帽子形城の史実」

●努力賞 野田邦雄さん 10分50秒

「実に実にし」

●努力賞 中村幸子さん 10分50秒

「それぞれの実りの時を」



<総評> 会長合原一夫

最優秀賞に輝いた紙本作品「実り」は、色々な花や果実の美しく咲く花から実になるまでを丹念に描かれていて、観ていても気持ちが安らいできます。これだけ多くの花実を追いかけて撮影するのはかなり大変だったと思います。同点2位の私の「わが町に実際に起こった事」は、わが町の隠された記録を描いたドキュメンタリーでした。

高瀬さんの「実りの秋」は稲の収穫と吊るし柿の作っている2つのテーマを美しく描いていました。両者を繋ぐ画面が欲しいところです。堀さんの「華も実もあった」何年か前に同じ主人公のテーマで作品を拝見したことが有りましたが、その主人公の喫茶店、いよいよ閉店です。なかなかよくまとめてあり感動さえ覚えました。

江村さん「大原実光院」京都に「実」の入ったお寺さんをよく見つけられました。

静かなよいお寺さんで私も一度行ってみたいくなりました。

関さん「虚実皮膜の間」難しい題名ながら、京の祇園の花街や虚無僧など関氏ならではの編集技術で纏められています。題名の由来は近松門左衛門の言葉だと最後に字幕で解説されています。

進藤さん「不老長寿の果実を求めて」色々調べて撮影してこられたが、少々消化不良の気味が。ご苦労さんでした。

中川さん「烏帽子形城の史実」PL 花火がトップとラストに、主題は河内長野の歴史物語をよく調べて書いておられるが、理解がいま一つといったところか。

野田さん「実に実にし」内容はご自身の金属加工工場でモニュメントを作る工程と最後の除幕式に至る一連の流れを描いたもので立派な作品です。ただ今回の課題「実」を意識して題名を付けられている感じから題名を変えて一般作品として再提出してください。

中村さん「それぞれの実りの時を」ご家族の貴重な記録を綴ったもので、我が家の記録として「家宝」と言えるでしょう。



7月 通常例会レポート

今年の梅雨は場所によって水害が起こる程で、長い間晴れ間の見えない梅雨。例会日の25日土曜日も降ったり止んだりのうとうとしく、コロナ禍も重なって例会場もほとんど空室。わが例会に集まった者も僅かに11名のみ。しかし7本の作品が出品されて、まずまずの例会となりました。

■運営担当：司会 進藤、書記 紙本、映写 岡本、メモリー記録 江村、受付 照明 森下の各氏

■出席者：江村、岡本、紙本、合原、上総、進藤、高瀬、中川、森下、森田、山本の11氏

上映作品（書記は紙本氏）

1. おんな港・室津 BD 岡本至弘 10分00秒

「作者コメント」

兵庫県たつの市御津町室津、瀬戸内に面した小さな港町は、かつては室津千軒と呼ばれて栄えた時代もありました。また「お夏清十郎物語」や遊女発祥の土地でもある港町をぶらり訪ねた作品で、2015年 OMC撮影会作品を再編集したものです。

再撮影と1964年にフィルム撮影したものを合成しました。

<書記コメント>

港町の情景がよく描写されていて好感がもてます。遊女「友君」の伝承のある寺や碑などの紹介と語りも多く見られ、タイトルの「おんな港」にもなったのでしょう。

<会長コメント>

うまくまとめられました。ナレーションの語りも明瞭で判り易くてよかったです。いかにも原稿を読んでいる、という話し方が惜しいので、もう少しリラックスして、目の前で聞いている子供たちに話しているような気持ちでナレーションを読むと、聞いている人に感情が伝わります。



## 2. アズイが舞う かんこ踊り BD

紙本 勝 8分00秒

### 「作者コメント」

関西本線の新堂駅から例祭地の勝手神社まで5 km余り、往復2時間半の徒歩で取材。演目は5種類ながら、ゆったりの踊りで、しかもアップの撮影が難しい状態で、50分ばかりの映像素材を8分までに詰めるのに一苦労でした。

### ＜会長コメント＞

往復2時間半の歩きで撮影してこられたご熱意にまずは脱帽。こういうゆったりとした山場のない祭りは少し縮めた方がよいかもノンナレ作品ですが、自分の紀行作品として思い出を語るようなナレーションで伝統ある祭りだが、ゆったりムード的な祭りを映像化する方法もあるかと思えます。

## 3. アッピア街道を行く BD

山本正夢 8分50秒

### 「作者コメント」

ローマとナポリを結ぶ古代ローマ最古の軍道 BC 312年に建設され街道の王女と称される。

### ＜書記コメント＞

宿泊の古城ホテルからの夜明けの霧に覆われた街の眺めが素晴らしい。ローマ遺跡とパラグライダーそして城に宮殿、何時もながらの珍しい風景と描写を堪能させてくれました。

### ＜会長コメント＞

ローマからナポリ、いろんな遺跡の紹介があります。テンポの良い編集はさすがです。

しかし、なにかが足りない、思うのはこちらの贅沢な望みかもしれません。

## 4. 白井大町 藤公園 BD

中川良三 3分26秒

### 「作者コメント」

ここ白井大町 藤公園は、公園面積7000平方メートルで、藤棚は総延長500メートル、藤棚も幅も4メートルと山陰随一の藤公園と言われています。又造成にあたり岡山県和気町より頂いた全国の有名な藤の穂木を接木して育てたのだそうで、白井大町の方たちの努力の結晶ともいえます。緑萌える山々に囲まれて咲き誇る各種藤棚、水車、噴水そして鯉のぼりと、私たち来訪者を楽しませてくれました。

### ＜書記コメント＞

兵庫県の朝来市にあるという藤公園の広大な藤棚から滝のように垂れ下がる花の幻想的な風景を存分に見せて貰いました。5月の風に泳ぐ鯉のぼりに大きな水車、一日を大いに楽しまれた様でした。

### ＜会長コメント＞

藤の花もきれいでしたが、ラストカットの新婚さんの笑顔も素敵でした。

## 5. 田口鉄道 BD

江村一郎 8分00秒

### 「作者コメント」

廃線紀行の10作目は去年の秋に行った田口線です。早く行かないとダム工事で入れなくなると、紙本さんと一緒に多少迷いながらも行ってきました。JR飯田線の本長篠駅から分岐して11駅22.6 kmで終着駅三河口口まで、暗くなる前に何とかたどり着きました。

### ＜書記コメント＞

全編を通じて廃線の記事や運行時の映像の挿入で往事の様子がわかる様に工夫されています。画面にはないが、大草トンネルを出て弁当の昼食、近くの方に話しかけられ「柚を獲ってゆきなよ」の場面で私が登場してびっくり。この後、次の鳳来寺駅跡まで歩いたのでは取材後のバスには間にあわないよと親切に車で送って貰い大助かり、ダム工事で田口駅跡が沈むのも近いかも。

### ＜会長コメント＞

作者の廃線紀行の一つですが、ノンナレで字幕もないので、良いテーマだけに惜しい作品です。一人称のナレーションが欲しいところですが、字幕を入れて「廃線紀行」として自分なりの印象なり思いなりを語った作品にすればより共感の持てる作品になると思います。又タイトルも「廃線紀行・田口線跡を歩く」と言った様な題にされたら如何かと思えます。

## 6. 京の七夕 BD

高瀬辰雄 7分30秒

### 「作者コメント」

毎年8月の初めに市内の各地で「京の七夕」が行われます（今年は中止）その中の一つ「西陣の七夕」です。北野天満宮境内の七夕飾り、足付け神事、そして花街・上七軒の盆踊りでまとめてみました。

### ＜書記コメント＞



願いと祈りの七夕の伝統を受け継いで、5ヶ所のエリアで行われるイベントが「京の七夕」で大人気のようにですが、編集は京の夏の風物詩にふさわしいもので、地元の方ならではの作品でした。

<会長コメント>

西陣の七夕は、京の七夕らしい風景で、さすがきょう京都の人でないと撮れない風景でしたが、後半、花街に移って踊りの様子が描かれています。あれ盆踊りかと勘違いしましたが、これも七夕の催しだそうです。何かこれは七夕踊りだよといったことが判る工夫がほしいところです。又、西陣の七夕と花街の踊りがパッと変わるので、その継ぎ方の工夫もあれば抜群に良い作品になると思います。

ずっと以前、東京に児島範昭<sup>こじまのりあき</sup>という映像派の人が居て、一つの行事の終り頃になると、次の祭りの音が静かに聞こえ出してきて、さっと祭りの場面が変わっていく、という技法を使われて、その流れるような編集技術に魅了されたことを思い出します。

7. 梅宮大社 花菖蒲のころ BD  
進藤信男 7分00秒



「作者コメント」

梅宮大社は、京都嵯峨梅津後にある古刹。松尾大社の近くにあり、四季それぞれに彩ってくれる庭園を持つ。橘氏一門の氏神として、平安時代の初期に創立された。嵯峨天皇とその子仁明天皇を祀り、御神徳として「酒造守護、授子安産の守護、血統保存の守護、学業成就の神、縁結びの神、音楽芸能の神」が祀られている。庭園の造りは、いわゆる計算された美を求めるのではなく自然の息吹を感じさせてくれる造りだ。わが国で初めて雅楽が奏でられた祭りを持つ事でも知られている。現在では、雅楽と舞楽が奉納されていると聞く。掲げられた御神徳や神社創建にまつわる由緒から察すると、一見地味にも思える神社だ。コロナ禍の続く2020年6月、神社でも例年の行事は中止され、神事のみが行われる状況ではあったが、花菖蒲が咲く庭園を訪ねた。人影も疎らではあったが、落ち着いて菖蒲を愛でるのには相応しいところだったと感じた

<書記コメント>

この神社の神苑は、春から夏にかけて、花の競演が見られるとか。花菖蒲の種類は5000種もあるそうだが、広い池に映る美しさは、観光客を魅了するのだろう私たちを楽しませる作品でもありました。

<会長コメント>

コロナ禍で今年は花見をはじめ菖蒲の季節も人出が少なく、この作品にも人の姿は全くと言っていい程見当たりませんでした。

撮影にはもってこいの環境だったかもしれません。

## 7月第2例会レポート

第2例会は16日(第3木曜日)13時より市民学習センター第3研修室で開催。10名参加者がありました。第一部は、合原会長進行のもと、課題コン「実」の公開審査会があり、別掲のような結果でした。上位3名のほか、全員に記念品(BDディスク)が贈呈されました。休憩後、一般作品の上映に移り6作品が上映、終わって大方の人が二次会の喫茶店で久しぶりに華を咲かせました。ここも「三密」対策としてマスク着用、席も少し離れ気味の配置でしたが、やはり真におしゃべりできる幸せを感じました。

■運営担当：司会第1部合原、第2部進藤、書記第2部高瀬、映写 中川、メモリー記録 江村、  
受付兼照明 森下の各氏

■出席者：江村、紙本、合原、進藤、関、高瀬、中川、中村、森下、山本の10氏

第1部上映作品

「実」コンテスト作品上映；作品は2ページ参照

第2部上映作品(書記は高瀬氏)

1. 浮気(ふけ)の火祭り BD  
高瀬辰雄 8分30秒



「作者コメント」

滋賀県守山市の住吉神社で1月の第2土曜日に行われる火祭り。同時に行われる勝部神社の火祭りとは対になっている。住吉の松明が退治した大蛇の頭で、勝部が胴体とされるが、火の迫力は勝部が数段上で、やや火祭りとしては物足りない。

<会長コメント>

変わった火祭りの様子を描かれていますBGMはトップとラストだけで、ほとんど現録を生かされた編集構成は良かったと思います。よくできた作品です。

2. ゆりまつり BD  
江村一郎 7分10秒

「作者コメント」

三枝祭(さいくさのみまつり)別名ゆり祭りは奈良市の率川神社にまつられている神が三輪山に住んでいたとの言い伝えにちなんで、ささゆりを供えて



疫病を鎮める神事で飛鳥時代に始まったとされます。導入部分の「ゆり」は先月撮りました。

<書記コメント>

トップシーンのゆりをはじめ顔のアップなどアップカットを巧みに採り入れられた編集が秀逸。

<会長コメント>

こういう奥ゆかしい祭りがあるとは初めて知りました。若い娘さん達が沢山出る神事と雰囲気にもマッチしたBGMにうっとりしてしまいました。

**3. 謎を呼ぶ石の宝殿** **BD**  
**紙本 勝** **7分15秒**

「作者コメント」

昔は古墳の石棺にも使用されたという竜山石の産地に謎の大石があって、昔のロマンが感じられる。狭いところで、その全体像を撮影するのが難しく、圧倒されるのですが、少々判りにくいところがあったと思われます。

<書記コメント>

神社の御神体が大きな岩というのも驚きですが、碎石場と言ひ、神社の大岩と言ひ、撮影対象としては難しいものをよく撮られたと思います。

<会長コメント>

題字がかっこいいですね。石にまつわるお話には引き付けられます。このような変わったテーマをよく見つけ、調べ、現地に撮影に出かけられるいきごみ意気込みは見習いたいものです。

**4. ある日の魚たち** **BD**  
**堀 皓二** **4分50秒**

「作者コメント」

以前、訪問した三つの水族館の記録をまとめてみました。BGMに短いカットをつなぎ合わせ短いものに仕上げました。作品というより、見ていて癒しに感じてもらえればと思います。

私事ですが、3月10日に脳梗塞を発病し、1カ月入院していました。主治医からのアドバイスもあり、今月は参加出来ません。とりあえず「巣ごもり」中に制作したものです。コロナ禍のおかげで自分を再認識することが出来ました。残された人生、この趣味を大切に生きていきたいと痛感した次第です。

<書記コメント>

魚の種類や動きに合わせて、BGMが選択されていて、思わず画面に引き込まれました。

<会長コメント>

私も水族館へ行った気分になりました。BGMの使い方がよく雰囲気を盛り立てています。うっとり眺める人の顔がもっとあってもいいかな、と思います。魚だけではつまらないし、魚の中に浸り込む人間サマといった狙いも面白いかも。

**5. 秋のドレスデン** **BD**  
**山本正夢** **8分00秒**

「作者コメント」

ドイツの京都と言われるエルベ川上流にある16世紀からのザクセン王国の首都。終戦直前の空襲により大部分が破壊されるも人々は復興に努力し現在の街並みを再現させました。なお近郊にある陶磁器で有名なマイセンは戦火から逃れました。

<書記コメント>

ドレスデンの素晴らしい秋の風景を描かれている。いつものことながらワイドの構図が秀逸。

<会長コメント>

いつものながら珍しい外国の風景に見入ってしまいました。凡そ10年前までは、よく私も海外旅行していた事を今は懐かしい思いです。

**6. 退屈なひと時** **BD**  
**関 剛** **4分00秒**

「作者コメント」

アルザス地方の旅行で、このストラスプール駅前のホテルに4連泊した。夕食が済んだ後、何もすることがないので、ホテルの窓からなにげなく手持ちで撮った映像。本来なら切り捨てだが「ピアニスタひろし」の曲を入れて撮影順に並べてみた。

<書記コメント>

退屈しのぎに撮られた映像ということだが、長廻しのカットがその雰囲気を上手く醸し出されています。

<会長コメント>

気楽に撮り、簡単に編集された作品ながら、さすが関作品だと思いました。

